

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成26年度採択分）  
 「先進的インフラストラクチャー構築／防災・減災／地盤環境修復保全に関する地盤技術の国際情報発信と学術支援」  
 （課題番号：262007）

学術団体名：公益社団法人 地盤工学会  
 学術刊行物の名称：Soils and Foundations  
 事業期間：平成26年度～平成30年度

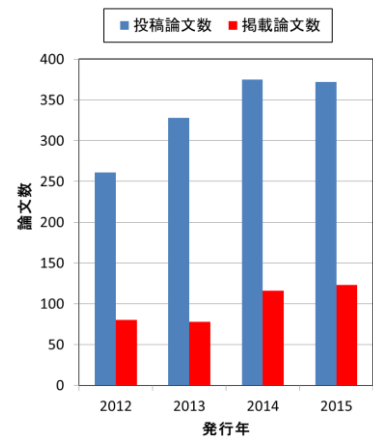
## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

地盤工学会（JGS）は昭和35年に国際論文誌Soils and Foundations（S&F）を創刊し、2012年からオンライン刊行による国際展開を図り、JGSの国際的な情報発信と学術支援に関する主要ツールと位置づけている。阪神大震災および東日本大震災を経験した日本には、その調査・解析に基づく新しい防災・減災技術のほか、卓抜した地盤設計・施工技術がある。以上を背景として、災害を通じた学術上の教訓やそれに耐えた実績に関する技術をS&Fにより世界に発信し、学術的・技術的に支援することを図るために、以下の目標を掲げる。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

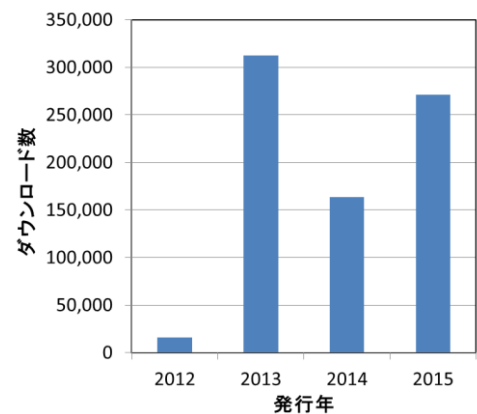
- 1) 先進的インフラ構築、防災・減災、地盤環境修復保全を中心に国際的な技術協力/学術支援を図る主題の特集号を刊行
- 2) 技術報文集や一部の特集号のオープンアクセス化と海外定期購読者数・PDF記事ダウンロード数および販売数の増加
- 3) Low Cost Conference（LCC）の開催と会議特集号の刊行
- 4) 被引用文献数1391→2,000件・インパクトファクター値0.3→0.8
- 5) 外国人編集委員数4→10名・外国人レフェリー数633→700名



## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

- 1) 先端的インフラ構築を支える交通地盤工学に関する特集号を2014年に、防災・減災および地盤環境保全修復の学術的基礎となる地盤材料の変形に関する物性論とマルチスケール力学に関する特集号をそれぞれ2015年と2016年に刊行。
- 2) 2015年に投稿区分としてGeo-disaster Reportを新設、国内外の地盤災害の調査速報をオープンアクセスとして掲載。PDF論文のダウンロード数は2015年約27万件に増加。
- 3) 2014年ネパール（カトマンズ）、2015年日本（福岡）、2016年日本（名古屋）にてLCCを開催。
- 4) 被引用文献数・インパクトファクターは、2015年には2,492件・1.238となり、事業完了時の目標値を既に達成。
- 5) 外国人編集委員は現在20名、外国人レフェリー数は現在2,196名となっており、事業完了時の目標値を既に達成。



### ・今後の計画

- 1) JGSの国際情報発信をより強化するための特集号を引き続き刊行するとともに、我が国の優れた技術や地盤災害調査速報のオープンアクセス報文を刊行するなどして、被引用文献数・インパクトファクターのさらなる増加を図る。
- 2) 2017年4月より通常の掲載論文についても掲載直後からのオープンアクセスを可能とする権利を著者に販売する。海外定期購読者数・PDF記事販売数の増加のため海外へ向けた広報活動をさらに強化し、今後も定期的に国際地盤工学会や各国の地盤工学会にニュースレター等を発信する。

